

皆様が気になる「お役立ち情報」をお届けします！

ご担当者の中で、ご回覧下さい。

回覧

--	--	--	--	--	--	--	--

ナガシマレポート

5 2011
月号

VOL.
002

編集担当者からひとこと

こんにちは、ナガシマの吉永です！

皆さん、こんにちは。株式会社ナガシマの吉永です。いつもナガシマとのお取引を頂き、ありがとうございます。

今朝、被災地で瓦礫の中、テントで始めた花屋さんの特集がありました。「お花を手向ける事で、皆さんが心安らかになるよう、何とか役に立ちたい。」と。朝から涙が出てきて、困ってしまいました。自分の仕事で誰かの役に立てる。そのようになりたいと深く感銘を受けました。



編集担当 吉永

NEWS

01 バックアップをきちんと取りましょう！ -株式会社ナガシマ 代表取締役 長島誠-

4月に、お取引のあるお客様に「震災対策に関するアンケート」にご協力頂きました。お忙しい中ご協力下さり、ありがとうございました！

アンケート回答の中で、特に気になる点が出てまいりました。「バックアップ用品」に関する回答数が極端に少なかったのです。今回のアンケートに回答いただいた企業様は51社でした。耐震用品、避難用品、会社の備蓄品に関する内容は、少なくとも20社以上のお客様から、何かしらのご回答を頂いておりました。ところが「バックアップ用品」に関して回答を頂いた数は **わずか4社です。**

このように、極端に回答数が少ないには、幾つか理由があると思われます。例えば、以下のようなことが考えられます。

- バックアップに関する興味・関心が薄い
- バックアップをとってない/バックアップの取り方がわからない
- バックアップに対する必要性を感じていない/重要度が低い

私たちの大切なお取引先様で、**実際にパソコンが壊れて大切なデータを無くされ、非常に辛い目にあっている**ということをお耳にしております。みなさまは、自分のパソコンの中に入っているデータの価値を認識されていますか？

例えば、営業用のプレゼンテーション資料。1つの資料作成に5時間かかったとします。100種類の資料がパソコンの中にある場合、資料作成に費やした時間は、500時間。資料を作成した人の人件費を時給2,000円とした場合、**データ作成にかかっている金額は、なんと100万円にも達します。**

「まあ、今はきちんと動いているし。大丈夫だろう」…このように考えている方は、もう一度考え直してみてもいいのではないでしょうか。例えば、以下にチェック項目を明記いたします。一度、チェックを付けてみてください。

- お客様情報や契約書など、絶対に失くせないデータが入っている
- 数日ばかりで時間をかけて作った資料が入っている
- サーバ上に移していない、大切な情報が入っている
- これからの新しいビジネスのネタになるような情報が入っている
- 貴重な思い出の画像データや、現場で撮影した画像データが入っている

余震が未だ続いている中、パソコンの落下などによって、急にデータがなくなってしまうリスクが現在も続いています。一つでも当てはまる方は、バックアップの仕組み導入をおすすめ致します。

ナガシマでも、バックアップの仕組みをご提案しております。興味がある場合は、是非ともお声がけくださいませ。

皆様が気になる「お役立ち情報」をお届けします！ 発行：株式会社ナガシマ

本社：〒372-0046

群馬県伊勢崎市三光町3-10

TEL: 0270-26-1726 FAX: 0270-26-1832

ナガシマレポート

URL: <http://www.office-nagashima.co.jp/>

ナガシマ 群馬

検索

本レポートが不要な方は、お手数ですがFAXにてご返信願います。

■レポートは不要です(チェック願います)